

「令和4年度予算案の概要」のポイント（資料2 P1、P4）

1 料金収入は微減

区分	令和3年度予算	令和4年度予算	増減
給水収益(水道)	2,127,235千円	2,124,507千円	△2,728千円
下水道使用料	1,403,861千円	1,401,310千円	△2,551千円

2 各種経費の増加

修繕費	令和3年度予算	令和4年度予算	増減
水道	98,222千円	106,044千円	+7,822千円
下水道	198,641千円	211,755千円	+13,114千円
動力費	令和3年度予算	令和4年度予算	増減
水道	46,987千円	48,436千円	+1,449千円
下水道	134,646千円	141,097千円	+6,451千円
薬品費	令和3年度予算	令和4年度予算	増減
水道	56,472千円	61,890千円	+5,418千円
下水道	54,106千円	55,307千円	+1,201千円

3 支払利息は減少

支払利息	令和3年度予算	令和4年度予算	増減
水道	35,674千円	29,161千円	△6,513千円
下水道	147,307千円	123,248千円	△24,059千円

4 純利益確保の見通し

純利益	令和3年度予算	令和4年度予算	増減
水道	180,120千円	150,024千円	△30,096千円
下水道	74,843千円	31,767千円	△43,076千円

水道・下水道とも水量は若干の増加を見込んでいますが（資料2 P3、P6）、料金単価は使用水量に応じて段階的に上がる体系（逡増制）をとっており、水を多く使う世帯が減り、使用水量の少ない単身世帯が増える傾向にあるため、全体の料金収入は前年度の当初予算を僅かに下回る見込みです。

経費は、施設の老朽化に対応するため修繕費が増加し、原油価格の高騰により動力費や石油を原料とする薬品の費用が増額となる見込みです。支払利息は金利の高い時期に借り入れた企業債の償還が終了することにより減少します。

水道・下水道とも純利益は前年度の当初予算より減少しますが、一定程度確保できる見通しです。